

# 進路だより



第3号  
令和5年 10月 2日(月)  
進路指導部発行

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目に見えて分かるようになってきました。

9月11日(月)から9月22日(金)までの9日間、高等部3年生を対象に産業現場等における実習を実施しました。実際に現場で仕事や生活を通して、働く者としての自覚や態度が育ち、卒業後の社会生活への適応力が高まりました。また、望ましい作業態度や、長時間の仕事に従事できる体力・気力を育成する良い機会となりました。今後とも保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

進路だより3号では、1学期に全校生を対象に実施した「進路希望調査」の中で寄せられた保護者の皆さんからの質問等に答えるコーナーを設けました。ぜひご一読ください。

## 【質問1】家から通える事業所・企業に就労したい。



「家から通える事業所を利用したい。」「一人で通うことができるのか。」「交通手段が心配。」「送り迎えができないので、送迎が利用できるのか。」「といった、通勤に関する心配の声が多数ありました。

通勤に関しては、どの事業所に行くかによって通勤方法、送迎サービスの有無などが異なります。そのため、ご家庭ごとにどの事業所に行きたいのかをまず明確にして、その事業所に自宅から通うためにはどんな交通手段が考えられるのかなどを各自考える必要があります。送迎サービスの有無も各事業所に問い合わせることが必要です。

バスを使うのであれば、バス停はどこにあり、何時に出発するのか、料金はいくらか、自宅からバス停まで安全に歩くことができるのかなど具体的に考えることが必要です。まずは、興味のある事業所の見学から始めてみましょう。実際に施設を見学することで、高等部卒業後の生活のイメージや、そこで働くお子さんの姿がイメージできます。「進路の手引き」をご覧ください、見学等をしてみたいと思われた施設がありましたら、直接先方にご連絡していただき、日程等の調整をお願いします。この機会に一度、福祉事業所・施設を覗いてみてはいかがでしょうか。

## 【質問2】就労に必要な力とは何ですか？



「身に付けなければならない力とは何ですか。」「就労に必要な力が身に付いているか心配。」など、卒業後に向けてどんな力をつけていけばいいのか、どんなことを意識していけばいいのかという質問や心配が聞かれました。進路先で求められる力の一部として、以下のような内容が考えられます。小学部段階から、ご家庭での毎日の生活の中でも取り組んでいける内容がほとんどです。学校と連携しながら毎日の生活の中で地道に取り組んでいきましょう。

日常生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみを整える</li> <li>・自分でトイレを使える</li> <li>・食事のマナーを守る</li> <li>・自分の持ち物の管理ができ、自分の物と他人の物の区別ができる</li> </ul>
作業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間作業を続けることができる</li> <li>・使った物を元に戻すことができる</li> <li>・指示を素直に聞く</li> <li>・職場の人と協力して仕事ができる</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を呼ばれたら返事ができる</li> <li>・挨拶ができる</li> <li>・ありがとう、ごめんなさいが言える</li> </ul>



